



障害当事者からの提言

要援護者支援(助け合い)仕組み

eコマウエアによる要援護者支援システム構築に向けた取り組み

社会福祉法人AJU自立の家
わだちコンピュータハウス防災企画G



要援護者台帳をめぐる課題

① 個人情報保護の過剰反応

役所内、地域住民への情報開示が難しい(民生委員ですら)

② 地域支援者がいない

民生委員等一部の人への負担が大きい

③ 地域ごとの温度差

温度差は仕方がないとして、いかに引き上げていくか

などなど

災害時要援護者のためのDIG防災訓練



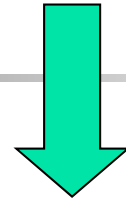
障害当事者のほか地域の防災ボラ、市職員、消防署員、区社協から参加



防災タウンウォッチング

障害当事者による街あるき点検

要援護者を支援する



UD要素から取り組むeコミウエア

- ・公正な利用→ WEB上で公平である
- ・利用における柔軟性→ オリジナルなサイトが可能
- ・単純で直感的な利用→ 簡単な操作で使用可能
- ・認知できる情報→ 地域の情報を地図上で表現
- ・失敗に対し寛容である→ 間違った情報、古い情報をリアルタイムで更新

当事者自身が情報発信となる地域の風土を作り上げる

